



「デバナシ」に  
「セキ」とさん  
ては堪らん

！るつうらか事なんこはセカリヤハ

に赤夕な朝とせ嗽含





豫防注射で  
宿のなくふる  
風乃神

本病患死者數及流行狀況ノ調査並本病ノ取扱ニ關スル疑義等ニ關シ照覆シタル事項等ヲ概記スヘシ

由來流行性感胃ハ其ノ症狀普通感冒ニ酷似セル場合多ク兩者ノ鑑別診斷比較的困難ナルト輕症ノモノハ醫療ヲ受ケス二三日ノ休養ニヨリテ治癒スルコト多ク殊ニ届出ノ規定ナキヲ以テ患死者數ノ調査ハ極メテ困難ナルモノアリ然レトモ之カ概數ヲ知ルハ流行ノ大勢ヲ窺ヒ豫防救療ノ方策ヲ樹ツル上ニ重要ナリ據テ大正八年十二月一日府縣ニ照會ヲ發シ左ノ各號ニツキ調査シタリ

發衛第九〇六號

大正八年十二月一日

衛生局長

各地方長官宛(東京ハ警視總監)

流行性感胃ニ關スル件照會

十二月一日以降ニ於ケル流行性感胃ノ狀況別紙様式ニ依リ十五日毎ニ取纏メ御報告相成度

追テ十二月一日以前流行有之候ハハ其概要附記相成度  
流行性感胃患死者調査表(別紙)

合 計	市 部		流 行 ノ 初 期	患 者 數	死 者 數
	市	部			
1	1	1			

備考

- 一、流行ノ状況
- 二、特ニ流行ノ著シキ地方
- 三、救療ノ状況

本件ニ關シテハ大正九年一月七日左記電報ヲ發シ以テ狀況詳知ノ方法ヲ講セリ

衛生局長

各地方長官(東京ハ警視總監)

十二月一日衛發第九〇六號照會流行性感胃調査表ハ本月ヨリ十日毎ニ報告アリタシ  
流行性感胃ノ流行ハ一月ニ入り益々猖獗ニ赴キ之ヲ豫防施設ノ充實ヲ期スルニハ先ツ詳細  
ナル流行ノ狀況ヲ迅速ニ知ルノ要アリ之ヲ爲一月十六日左記電報ヲ發シ十六日以後日報ヲ以  
テ患死者數ヲ報告アルヘク通牒セリ

衛生局長

各地方長官(東京ハ警視總監ヘ電話)

一月一日以降十五日マテノ流行性感胃患死者數至急電報アリタシ。既ニ十日マテノ分報  
告済ノ向ハ十一日以降十五日マテノ分ヲ電報アリタシ。十六日以降ノ患死者數ハ乍手數毎  
日書面報告アリタシ尙其他ノ事項ハ十日毎ニ書面報告アリタシ  
右ニヨリ日報ヲ以テ患死者數ヲ調査シツツアリシニ三月ニ入りテハ流行ノ勢ヲ減シ日々ノ  
新患者百名未滿ニ過キサル府縣數二十五ニ及ヒ其他ノ府縣ニ於テモ多クハ百人以上五百人未  
滿ニ減少セルヲ以テ同月下旬以降ハ旬報トスル旨三月十二日通牒セリ

衛發第一六〇號

大正九年三月十二日

衛生局長

各地方長官(東京ハ警視總監)

流行性感胃患死者數ニ關シテハ毎日御報告相煩居候處來ル二十一日ヨリ旬報ヲ以テ御報  
告相成度

流行性感胃ノ流行ハ上述ノ如ク漸次衰頽ニ傾キ終熄ノ日モ遠カラサルニ至リシカ過去ニ於  
ケル前後二回ニ渉ル流行ノ狀況慘害ノ程度豫防措置等ニ關シ綜括シテ調査シ將來ノ參考ニ資  
セン爲メ左記照會ヲ各地方長官ニ發セリ

衛乙發第四號

大正九年三月十二日

衛生局長

各地方長官宛

流行性感胃ニ關スル件照會

大正七、八年及同八、九年ニ於ケル流行性感胃ニ關シ別記ノ事項御取調ノ上六月末日迄ニ回  
報相成度

- 一、海外ヨリ病毒侵入ノ事實アレハ其ノ事實
- 二、陸海軍部隊内ニ於ケル流行ト府縣ニ於ケル流行トノ間ニ特種ノ關係ヲ有セシモノアラハ  
其ノ事實
- 三、大正八、九年ニ於ケル市及郡部別ノ月別總死亡數市ハ市別ニ郡ハ郡全體ノモノ
- 四、流行期間内ニ於ケル市郡別ノ流感患死者數(左表ニ依ル)

市月別	市別	市	市	何市	何市	何市	何市	總人口		初時ノ時期ノ	大正	原因	七	大	正	死者	死者	計	
								終時ノ時期ノ	患者										

五大正七八年流行時ニ流感ニ罹リタル爲大正八九年ノ流行時ニ於テハ罹病ヲ免レタルモノト認ム可キモノアラハ其ノ事實

六、適當ナル市又ハ町村等ヲ撰ミ流感患者ニ就キ性別年齡別職業別左表ニ依ル

性別年齡別調

年	別		計	男	女	計	男	女	計
	五	五							
五	五	五							
六	六	六							
七	七	七							
八	八	八							
九	九	九							
計	計	計							

職業別調

職業	患者數		死者數	
	有業者	無業者	有業者	無業者
一 農業、牧畜、養蠶等				
二 林業及狩獵				
三 漁業及製鹽				
四 鑛業及冶金業				
五 土石類ノ採取及製造				
六 金屬ニ關スル製造				
七 機械及器具製造ノ一				
八 機械及器具製造ノ二				
九 化學的製品及類似ノ製品製造				
一〇 絲及絲織製造				
一一 織物、綿物類製造並染織等				
一二 紙及紙品製造				
一三 皮革、皮革品及膠質製造				
一四 木竹類ニ關スル製造				
一五 水産物製造				
一六 飲食料品及嗜好品製造				
一七 被服及身懸品製造、洗滌、縫製等				
一八 土木、建築業				
一九 銅版、石版、木版ノ彫刻、印刷及寫眞業				
二〇 其他ノ工業				
二一 物品商				
二二 賣買媒介業				
二三 金融及保險業				
二四 ノ物品貸付、倉庫業其他ノ物品取、業人事及其他ノ因給業				

職業	患者數		死者數	
	有業者	無業者	有業者	無業者
一 農業、牧畜、養蠶等				
二 林業及狩獵				
三 漁業及製鹽				
四 鑛業及冶金業				
五 土石類ノ採取及製造				
六 金屬ニ關スル製造				
七 機械及器具製造ノ一				
八 機械及器具製造ノ二				
九 化學的製品及類似ノ製品製造				
一〇 絲及絲織製造				
一一 織物、綿物類製造並染織等				
一二 紙及紙品製造				
一三 皮革、皮革品及膠質製造				
一四 木竹類ニ關スル製造				
一五 水産物製造				
一六 飲食料品及嗜好品製造				
一七 被服及身懸品製造、洗滌、縫製等				
一八 土木、建築業				
一九 銅版、石版、木版ノ彫刻、印刷及寫眞業				
二〇 其他ノ工業				
二一 物品商				
二二 賣買媒介業				
二三 金融及保險業				
二四 ノ物品貸付、倉庫業其他ノ物品取、業人事及其他ノ因給業				

二五	旅人宿及下宿業、飲食店、 業、遊藝場及興業營業場、 沐浴二箇ノ業								
二六	商業ニヤチ(二)乃至 (三)ニ入ルモノ								
二七	交通業								
二八	現役陸軍及海軍								
二九	宮廷、國及公共團體ノ職 務ヲ帯フル者並ニ預備員								
三〇	自由業								
三一	技師ニ從事スル者及技師 ニ關スル職業ニ從事スル 者								
三二	其他ノ有業者及有業者ニ シテ職業ノ中野計カナラ ズル者								
三三	無職業及職業ヲ申告セザ ル者								
合計									

備考

本表職業別ノ別冊職業分類ニ據ルコト  
無業家族カ患死者ナル場合ニハ生計主ノ職業ニ依リ相當欄ニ記入スルコト  
(三三)項ニ屬スル者ニシテ家族ニ非サル者ハ之ヲ有業者ノ欄ニ記入スルコト  
七、豫防措置及成績(既ニ報告済ノモノハ)

- (イ) 一般概括
- (ロ) 豫防ニ關スル思想ノ啓發
- (ハ) マスク、咳嗽ノ獎勵
- (ニ) 集合禁止、學校工場閉鎖等
- (ホ) 傳染病舎、隔離病舎利用等

(ハ) 豫防費豫算又ハ決算ノ區別ヲ明記スルコト

府	市	町	衛生組合 公益團體	何	年	度	何	年	度
	(區)	村							

備考

- 補助費ハ當政補内ニ未記スルコト
- (ト) 各種公益團體活動ノ狀況
  - (チ) 患者救療ノ狀況
  - (リ) 適當ト認ムル二三ノ箇所ニ於ケル箇所別ノ豫防注射ノ成績
  - 一、使用セシ豫防液ノ種類及其製造者
  - 一、豫防注射施行ノ期日(其ノ期日ハ施行ノ初期、末期、  
終末期ナラナキモ記スルコト)
  - 一、患死者發生數

甲 豫防注射ヲ受ケタルモノ  
A 二回注射ヲ完了セシモノ

注射後五日以内發病ノモノ	注射後五日以上十日以内發病ノモノ	注射後十日以上二十日以内發病ノモノ	注射後二十日以上ノ後發病ノモノ	罹病セサルモノ	同	上
死 者	死 者	死 者	死 者	シモノ	同	上
患 者	患 者	患 者	患 者	シモノ	同	上
患 者	患 者	患 者	患 者	シモノ	同	上
患 者	患 者	患 者	患 者	シモノ	同	上

B 一回注射ノミヲ受ケタルモノ

同前表ニヨルコト

「乙」豫防注射ヲ受ケサルモノ

大正七八年流行ノ際罹病セザルモノ	患者		死者		罹病セザルモノ
	同	上	同	上	

備考 「乙」ニ關スル調査ハ甲ト同一ノ箇所若クハ「甲」ノ調査ト對照スルニ適當ナル他ノ箇所ニ就キ行フコト  
 (後段ノ場合ニ於テハ調査箇所ヲ明記スルコト)

- (ヌ) 豫防注射ノ效果ヲ判定スルニ適當ナル事例
- (ル) 全府縣内豫防注射ヲ受ケタルモノノ總數其ノ總數ハ使用セシ豫防液ノ種類及其製造者別ニスルコト)
- (オ) 豫防液ノ種類製造者別ニシタル反應副作用等ノ事實
- (ワ) 其ノ他參考トナルヘキ事項

本府豫防上ニ生セシ疑義ニツキ

本府ハ所謂法定傳染病ニ非サルカ故ニ之カ取扱ニ關シテハ種々ノ疑義ヲ生セリ主要ナル照覆左ノ如シ  
 一、神奈川県ヨリ一月廿二日左ノ電報照會アリタルヲ以テ同二十三日衛生局長ヨリ次ノ如ク返電セリ

一月二十二日

神奈川県知事

衛生局長宛

明治十九年閣令第二十三號ノ傳染病及明治二十三年法律第四十四號官吏遺族扶助法第四條第二項ノ傳染病ハ法

定傳染病ニ限ルヤ又廣ク一般傳染性疾患ニモ適用セラレルヤ貴局ノ意見承知シ度

一月二十三日

衛生局長

神奈川県知事宛

御同合セノ閣令第二十三號等ノ傳染病ハ流行性感胃ヲモ含ム義ト存ス  
 本件照覆ノ事實ハ一月二十日各地方長官ニ通達セリ

二、鹿児島縣知事ヨリ次ノ照會アリタルヲ以テ二月四日左ノ如ク衛生局長ヨリ回答セリ

一月二十九日

鹿児島縣知事

衛生局長宛

市町村ニテ爲セシ流行性感胃豫防施設ニ要セシ費用ニ對シ傳染病豫防費ト同様ニ縣費補助ヲ爲シ市町村ヲシテ豫防上完全ナル施設ヲ講セシムル必要ヲ認メ今般傳染病豫防費補助ノ豫算ヨリ市町村ノ支出精算額ニ對シ十分ノ二ニ補助費度ニ付此ノ經費ニ對シテ特別ノ設議ヲ以テ傳染病豫防費補助ニ對スルト同様國庫下渡金交付相成様致度何分御回答相煩度候(摘要)

二月四日

衛生局長

鹿児島縣知事宛

流行性感胃豫防費ニ對スル國庫補助ノ件回答

本件ニ關シテ一月二十九日衛生第一六九號ヲ以テ御照會相成候處右豫防費ニ對スル國庫補助ハ目下困難ナル事情有之候條御了知相成度

二月十三日滋賀縣知事ヨリモ同様國庫補助ニ關シ照會アリシニ對シ局長ヨリ鹿児島縣知事ニ發セルモノト同意味ノ回答ヲナセリ

三、長野縣知事ヨリ二月十九日附電報ヲ以テ明治二十八年勸令第七一號傳染病中ニハ流行性感胃ヲ含ムヤ否ヤノ照會アリタルニツキ三月一日衛生局長ヨリ勸令七一號傳染病中ニハ流行性感胃ヲ含ム旨電報ヲ以テ回答セリ  
 本件ニ關シテハ同様ノ意味ヲ府縣長官宛通達ス

三、大正九年秋冬ノ候ニ對スル豫防

前後二回ニ亘ル大流行ニ際シ本省ノ採リタル豫防施設ハ概ネ上述ノ如クナリシカ猶大正九



年秋冬ノ候ニ於テ三度本病ノ流行ナキヲ保シ難キヲ以テ豫メ是レカ對策ヲ講究スルノ要ヲ認メ四月十九日ヨリ四月二十三日ニ至ル期間本省ニ於テ開催セル地方衛生技術官會議ニ於テ流行性感胃ニ關シ左ノ諮問ヲ爲セリ

一、流行性感胃豫防ニ關シ實際上有效ト認メラレタル方法如何

右ニ依リ各地方ノ實際ニ關スル經驗及意見ノ開陳アリ由來今回ノ如キ流行性感胃ノ流行ハ稀レニ見ルトコロナルヘキモ各府縣共其ノ被レル被害甚シカリシヲ以テ之カ豫防撲滅方法ニ關シテモ各種ノ手段方法ト之カ實行ニ關シテ多大ノ努力ト苦心トヲ以テセリ輒チ是レニヨリテ得タル經驗ハ將來ノ豫防施設計劃上裨益スルトコロ少カラサルヲ認メタリ

猶歐米各國ニ於ケル本病ノ流行狀況豫防施設並ニ治療方法等ヲ實際ニ調査セシメン爲メ大正九年五月初旬防疫官兼内務技師加藤源三ヲ英米二國ニ内務技師兼防疫官氏原佐藏ヲ同年七月佛國巴里ニ開催サルヘキ聯合國神經病學會並ニ同年十月同地ニ開催サルヘキ結核防止國際協會設立ニ關スル會議ニ日本委員トシテ出席スヘキ要務ヲモ兼ネ佛瑞獨伊ノ四箇國ニ派遣シタリ

其ノ他本病豫防對策ノ完璧ヲ期センカ爲メ大正九年九月本省ハ左ノ四名ヲ臨時囑託シ常時ノ職員ト相協力シテ專ラ本病豫防ニ關スル内外各般ノ文獻ニ就キ調査セシムルト共ニ一面我國ニ於ケル醫學者臨床家其ノ他醫事衛生關係者六百餘名ニ對シ本病豫防上ニ關スル意見ヲ求メ多數有力ナル參考資料ヲ得タリ流行性感胃ニ關スル調査囑託左ノ如シ

- 慶應義塾醫學部教授 醫學博士 高野 六 郎
- 傳染病研究所技師 醫學士 佐藤 秀 三
- 傳染病研究所技師 醫學士 野邊地 慶 三
- 北里研究所助手 武邊 虎 一

斯クテ各般ノ學說文獻ノ調査考究ノ結果ト海外視察員ノ報告ト學者實地家ノ意見トヲ精涉審議シテ左ノ如キ流行性感胃豫防要項ナルモノヲ得之ヲ地方長官ニ訓令實施ヲ促スト共ニ關係各方面ニ汎ク印刷配布シタリ

內務省訓令第一號

廳 府 縣

流行性感胃ハ幸ニシテ昨今未タ甚シキ流行ヲ見サルモ今ニ於テ注意警戒ヲ嚴ニシ之ヲ未然ニ防止スルニ非スルハ再ヒ曩年ノ如キ慘禍ヲ反覆スルノ虞ナキヲ保セス本病ノ豫防ニ關シテハ從來其ノ最善ト認ムル施設ノ履行ニ努ムル所アリシト雖尙豫防方法ノ十全ヲ期セムカ爲曩ニ官吏ヲ海外ニ派遣シ又職員ヲ省内ニ特設シテ專ラ内外ノ文獻及施設ニ關シ調査考究ヲ悉サシムルト共ニ一面全國ニ於ケル學者實際家ノ意見ヲモ需メ更ニ精覈審議ヲ重ネテ別紙要項ニ示スカ如キ成案ヲ得タリ之カ實行ニ關シテハ固ヨリ各般ノ事情ヲ參酌シ機宜ヲ制スルノ必要アルヘシト雖大體本要項ニ基キテ豫防ニ關スル計畫ヲ確立シ以テ之カ遂行ニ努ムルト共ニ公共團體ヲ始メ公私諸團體及篤志家ノ活動ヲ促シ相俟テ本病豫防ノ效果ヲ擧ケムコトヲ期セラ

大正十年一月六日

內 務 大 臣

流行性感胃ノ豫防要項

第一 病原及傳染徑路

- 一、病原體トシテ「アイフェル」氏菌濾過性病原體又ハ他ノ菌ヲ擧クル者アルモ現今ニ於テハ未タ學者間ニ意見ノ一致ヲ見ス
- 二、重症ノ流行性感胃ニハ肺炎ヲ伴フモノ最モ多シ
- 三、流行性感胃肺炎ニハ「アイフェル」氏菌及肺炎双球菌重要ナル意義ヲ有ス
- 四、病原體ノ排泄口及侵入門戸ハ主トシテ口腔及鼻腔ナリ
- 五、感染ハ主トシテ咳嗽、噴嚏等ノ際ニ於ケル飛沫傳染ニ因ル
- 六、唾痰、鼻汁其ノ他瘻具、食器、手拭等感染ノ媒介ヲナスコトアリ
- 七、病原體保有者カ傳染源トナルコトアリ

第二 豫防方法

第一 傳染徑路ノ遮斷

甲、飛沫傳染ノ防止

一、咳嗽、噴嚏ニ關スル注意

- イ、咳嗽、噴嚏ノ際ハ「ハンケチ」手拭、紙片等ニテ口鼻ヲ覆フコト
- ロ、對談ノ際ハナルヘク三四尺ノ間隔ヲ保ツコト
- ハ、飛沫傳染ノ危険ナルコトヲ周知徹底セシムルコト

ニ、マスクノ使用

- イ、患者ニ接スルトキ使用スルコト
- ロ、群集ノ中、電車、汽車、劇場、寄席、活動寫真館、集會等ニ入ルトキ使用スルコト
- ハ、患者又ハ罹患ノ疑アル者ハ人ニ接スルトキ又ハ外出ノ際使用スルコト

ニ、理髮業者ノ如キハ從業中使用するコト

三、マスクニ關スル注意

- イ、マスクハ清潔ナル布片ニテ製シ其ノ厚サハ「ガーゼ」六枚ノ程度ヲ標準トスルコト
- ロ、マスクハ口鼻ヲ完全ニ覆フ大サヲ要スルコト
- ハ、マスクハ時々取換ヘ又ハ煮沸、洗濯スル等常ニ清潔ニスルコト

乙、患者ノ隔離

一、一般家庭

- イ、患者ハナルヘク別室ニ隔離シ別室ナキトキハ屏風、衝立ノ類ヲ以テ健康者ト隔ツルコト
- ロ、患者ハナルヘク早期ニ入院スルヲ可トス
- ハ、患者トノ交通ヲ差控フルコト

二、寄宿舎及工場等

- イ、流行ノ兆アルトキハ健康診断、外出禁止、面會謝絶其ノ他出入ノ警戒ヲナスコト
- ロ、隔離室ヲ設ケ患者及罹患ノ疑アル者ハ早期ニ隔離スルコト
- ハ、工場通勤者ニシテ罹患セルモノ又ハ罹患ノ疑アルモノアルトキハ相當期間就業ヲ差控ヘシムルコト

三、旅店、下宿屋其ノ他宿泊所

- イ、患者又ハ罹患ノ疑アル者ニハ速ニ醫療ヲ受クヘキコトヲ勸メ他ノ宿泊人トノ交通ヲ差控ヘシムルコト

ロ、患者ニハナルヘク早期入院ヲ勸ムルコト

四、病院其ノ他患者收容所  
流行性感胃患者ト他ノ一般患者トハ同室ニ收容セサルコト

五、客ニ接スル業務者  
患者又ハ罹患ノ疑アル者ハ相當期間就業ヲ差控フルコト

丙、集會、集合ノ制限  
一、演說會、講演會、說教等

流行時ニハナルヘク此ノ種ノ會合ヲ見合ハスコト

二、學校、幼稚園等

(一) 昇校停止

イ、職員、生徒、兒童ニシテ罹患セルモノ又ハ罹患ノ疑アルモノハ直ニ昇校ヲ停止スルコト

ロ、患者ノ發生セル家庭又ハ部落ヨリ來ル職員、生徒、兒童ニ對シテハ必要ト認ムルトキ

ハ直ニ昇校ヲ停止スルコト

(二) 學校閉鎖

學校内、學校所在地及其ノ近傍ニ於テ患者發生ノ場合ハ狀況ニ依リ速ニ全校又ハ其ノ

一部ヲ閉鎖スルコト

(三) 流行時ニハ遠足、運動會、早朝ノ昇校等ニ付考慮スルコト

(四) 幼稚園ニ於テハ前記各號ニ準シ處置スルコト

三、劇場、寄席、活動寫真館等

流行時ニハ入場者ノ「マスク」使用ヲ奨励シ衛生施設ヲ一層嚴密ニシ狀況ニ依リ興行ヲ見

合ハスコト

四、祭禮、祝賀會、法會、葬式等ニ於ケル多人數ノ集合ハナルヘク之ヲ避クルコト

五、交通機關

咳嗽、噴嚏ニ關スル注意、「マスク」ノ使用、唾痰ノ處置ヲナルヘク勵行スルコト

丁、消毒

一、唾痰ノ處置

唾痰ハ唾壺、布片、紙片又ハ下水、便池等ノ外ニ略出セサルコト

唾痰、鼻汁ニテ汚染セル布片、紙片及唾壺内ノ唾痰ハ消毒シ又ハ便池ニ投棄スルコト

二、患者ノ使用セル居室、寢具、衣類、食器等ノ消毒

イ、居室ノ消毒

疊及器具ハ濕布ヲ以テ拭淨シ室内ハ日光ノ射入、空氣ノ交換ヲ充分ニスルコト

ロ、寢具、衣類等ノ消毒

屢日光消毒ヲ行フカ又ハ煮沸消毒、蒸汽消毒等ヲ行フコト

ハ、食器ノ消毒

食器ハ専用トシ使用ノ都度熱湯消毒ヲ行フコト

ニ、患者又ハ罹患ノ疑アル者ノ使用セル物件ハナルヘク健康者用ノモノト區別シ消毒セ  
ル後ニ非サルハ他人ニ使用セシメサルコト

三、旅店、下宿屋、飲食店、料理店等ニ於テ營業上使用スル物件ニ付テハ前記各號ニ準シ處置スルコト

戊、含嗽

含嗽ハ食鹽水(百分中)、重曹水(百分中)、硼酸水(百分中)、微温湯等ヲ使用シ一日數回殊ニ外出ノ後食事ノ前後及就眼前ニ行フコト

第二 豫防注射

流行ノ兆アル時ハナルヘク速ニ豫防注射ヲ受ケルヲ可トス

注射ヲ受ケムトスル者ニシテ心臟疾患、脚氣、腎臟疾患、肺結核、妊娠發熱其ノ他身體ニ異常アルモノハ豫メ特ニ醫師ニ協議スルコト

第三 一般衛生

一、精神ヲ爽快ニ保チ皮膚ヲ練固シ腸胃ヲ健全ニシ適度ノ運動ヲナシテ抵抗力ノ増進ヲ計ルコト

二、徒歩ヲ獎勵スルコト

三、老幼、虛弱者ハ特ニ寒氣ニ冒サレサルコトニ注意スルコト

イ、ナルヘク早朝、深夜ノ外出ヲ避クルコト

ロ、寒氣甚シキ時ハ戶外ノ遊戯、運動等ヲ差控フルコト

ハ、防寒設備ニ注意シ湯冷、寝冷等ヲ避クルコト

四、強壯者ト雖豫防注意ヲ怠ラサルコト

五、過勞ヲ避ケ休養ヲ充分ニスルコト

- 六、室内ノ採光、換氣、清潔ニ注意シ寢具、衣類等ノ乾燥其ノ他清潔ニ努ムルコト
- 七、頭痛、發熱等身體ニ異常アルトキハ速ニ醫師ノ診療ヲ受ケ其ノ注意ヲ嚴守スルコト
- 八、妊婦、産婦ハ特ニ豫防ニ注意スルコト
- 九、劇場、寄席、活動寫真館其ノ他多衆集合ノ場所ニ立入ルヲ差控フルコト

第三 醫療及看護等

一、醫療ノ普及

イ、診療所、診療班等ノ活動及臨時組織ヲ促スコト

ロ、軍醫ノ援助ヲ求ムルコト

ハ、醫學校、醫學研究所、醫師會、藥劑師會等ノ活動ヲ促スコト

二、病院其ノ他患者收容所ノ利用

イ、傳染病院、隔離病舎ヲ利用スルコト

ロ、官公私立病院ノ收容力増加ヲ促スコト

ハ、公會堂、寺院、教會其ノ他適當ノ建物ヲ臨時收容所トシテ利用スルコト

ニ、病院其ノ他患者收容所ニ於ケル病床ノ需給ヲ調節スルコト

三、看護ノ普及

イ、看護婦ノ需給ヲ調節スルコト

ロ、巡回看護ノ方法ヲ講スルコト

ハ、看護婦會ノ活動ヲ促スコト

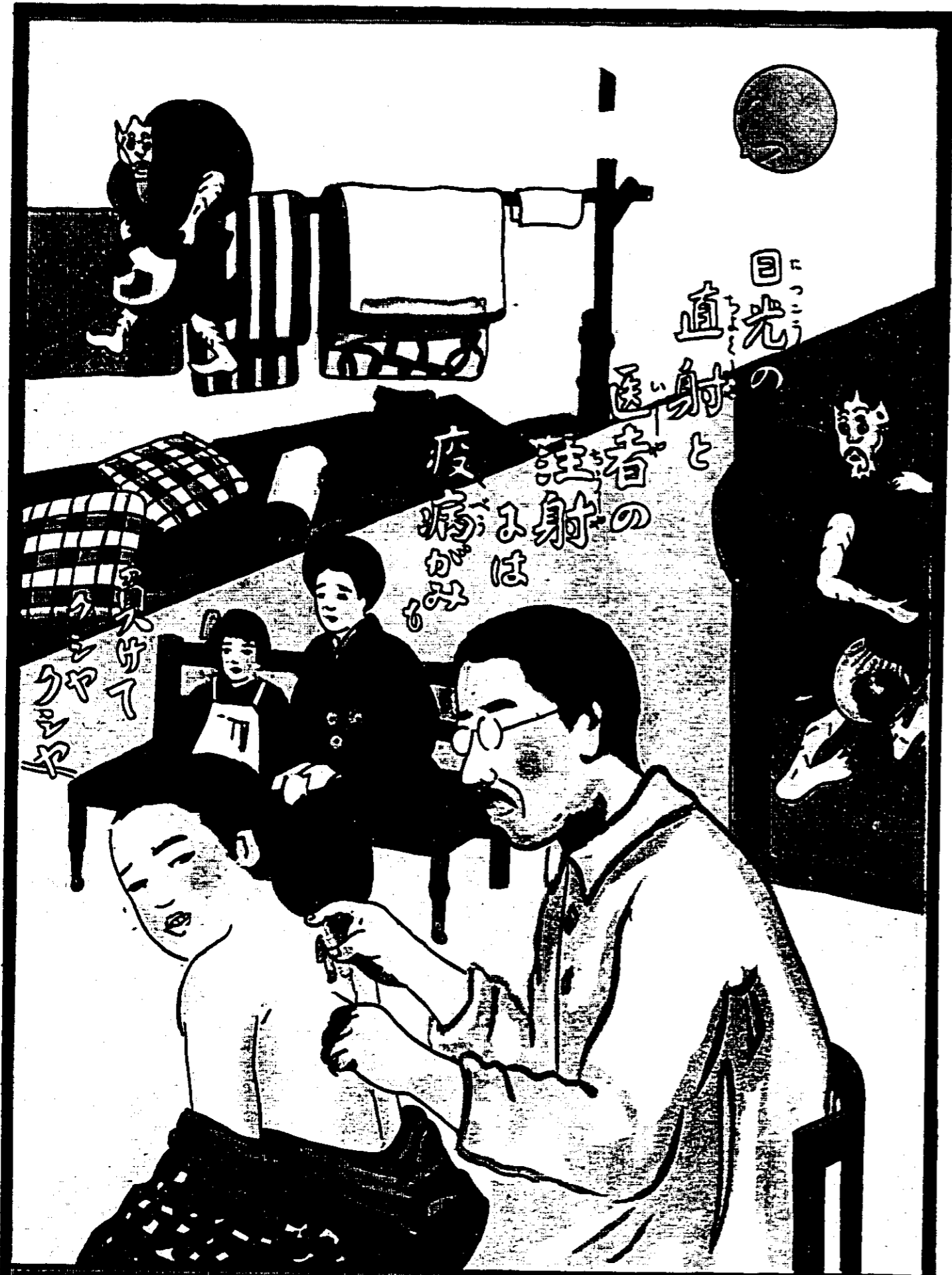
四、治療材料類ノ供給



藥品其ノ他豫防又ハ治療ニ必要ナル物件ノ製造能力ヲ増進シ其ノ配給ヲ接排シ買占賣  
 惜其ノ他不當行爲ノ取締方法ヲ講スルコト  
 五、豫防又ハ治療ニ困難ヲ感スル者ニ對シテハ相當ノ援助救濟ノ方法ヲ講スルコト  
 是レヨリ先キ十二月本病豫防ニ關スル「ボスター」ヲ考案ノ上三萬枚ヲ印刷シ廣ク各地方ニ配  
 付シ一般ノ注意ヲ喚起セシメ豫防ノ主旨ヲ徹底セシムルニ努メタリ、其ノ他陸海軍ニ於テハ地  
 方官憲ト連絡シ十二月新入營、新入團者ニ對シテ豫メ豫防注射ヲ爲スノ方法ヲ採リタリ



ひがうとクスマ



日光の

注射の

と

疫病の

予防は

かみ

かみ

かみ  
かみ  
かみ  
かみ

日光の毒消と注射の豫防

### 第三節 道府縣ニ於ケル施設

#### 第一項 豫防施設狀況

##### 一、豫防ニ關スル思想ノ啓發

本病流行ノ微アルヤ各府縣ニ於テハ告諭ヲ發シ本病ノ臨床的症狀、傳染ノ狀況、豫防ノ方法等ヲ一般ニ知ラシメ一方警察署長、郡市長等ニ通牒ヲ發シテ之カ豫防警戒ニ對シ遺漏ナカラシメタリ。又本省ヨリ配付ノ豫防心得書「ポスター」等ヲ主要ナル個所ニ配付揭示シ或ハ之ヲ増刷シ又ハ通俗ナル心得書ヲ印刷シテ各戸ニ配付セルモアリ或ハ「マスク」（咳嗽、豫防注射等ヲ獎勵セシムルカ爲ニ種々ナル「ポスター」ヲ考案印刷セル府縣モ尠カラス、又簡易ナル文字ヲ以テ豫防心得ヲ記載セル茶ヲ作製シ小學兒童ニ配付シ兒童ヲ通シテ家庭ニ豫防上ノ注意ヲ與ヘタルモアリ、埼玉縣ニ於テハ所澤航空隊ニ依頼シテ飛行機上ヨリ豫防心得書ノ配付ヲナシ所謂空中宣傳ヲ行ヒタリ、其他新聞雜誌ヲ利用シテ各地ニ於ケル流行狀況ヲ記載シ一般ニ警戒ヲ與ヘ豫防方法ノ實行ヲ促シタリ、衛生講話會ハ市町村、青年會其他ノ各種團體ニ於テ開催セラレ福井縣ノ如キハ自動車ヲ利用シ路傍講演注意書散布ヲナシツツ縣下各地ヲ巡回宣傳シタリ、其他二三府縣ニテハ流行性感胃豫防劇ヲ作りテ之ヲ活動寫真ノ映畫ニ撮リ以テ一般ニ觀覽セシメ本病ノ性狀豫防ノ方法等ヲ興味ノ裡ニ理解セシムルニ努メ或ハ活動寫真館、劇場等ノ幕間ヲ利用シテ豫防心得ヲ大書揭示シ又ハ衛生吏員ヲシテ本病ニ對スル講演ヲ行ハシメタルモアリ、然レトモ講演會活動寫真等ヲ以テ民衆ヲ集合セシムルハ却ヘツテ本病ノ傳染ノ機會ヲ造ルモノトナシテ之ヲ



避ケシメタル地方亦少カラス

本病ハ其ノ性質上之カ豫防警戒ニハ殆ト各自ノ自衛心ニ俟ツ外適切ナル方策ナキヲ以テ之カ喚起方法トシテ流行ノ當初ヨリ各府縣ニ於テハ豫防宣傳ニ力ヲ注キ殊ニ印刷物ニヨル宣傳方法最モ盛ンニ行ハレタリ。今各府縣ニ於テ施行シタル豫防宣傳方法ヲ摘録スレハ左ノ如シ北海道 流行ノ初期ヨリ豫防上ノ注意事項ヲ列記セル印刷物ヲ一般ニ配付シ或ハ「ポスター」ヲ配付シテ劇場、寄席、湯屋、理髮店、電車内其ノ他見易キ場所ニ貼付セシメ又ハ各地ニ講演會ヲ開キテ思想ノ啓發ニ努力セリ

東京府 本病ノ性質ヲ知ルハ豫防上極メテ緊要ノコトト認メ警察署長ニ指示シテ其ノ性質及豫防方法ノ普及ニ努力セシメ隨所ニ衛生講話會ヲ開催セシメ以テ思想ノ啓發ニ努メタルヲ始メトシ或ハ豫防心得ノ配布、揭示若クハ活動寫真館又ハ劇場等ニ於テ豫防ノ宣傳ヲナシ之カ思想ノ啓發ニ盡シタルハ孰レモ相當效果アリシヲ認メタリ

京都府 學校、工場其ノ他ノ團體及一般民家ニ對シ豫防心得書ヲ配付シ時々衛生講話會ヲ催シテ豫防宣傳ニ努メタリ

大阪府 患者ニ對シテ早期治療ヲ勸メ病毒傳播ノ機會少カラシム可ク直接間接ニ注意警告ヲ怠ラサルハ勿論前回ノ流行期ニハ市ト協定シテ注意書ヲ印刷シ市内各戸ニ配布シ市民ノ思想啓發ニ努メ一方大阪府衛生會モ亦豫防心得書三千五百枚ヲ印刷シ市内樞要ノ場所ニ揭示シ且ツ市内百餘箇所ニ大型立看板ヲ建設シ以テ豫防思想ノ喚起ニ努メタリ、後流行ノ際ニハ告諭ノ全文三萬五千枚ヲ印刷シ各警察署ヲシテ劇場、寄席、湯屋、理髮場、會社、工場其他公衆集合ノ場所等ニ配付揭示セシメ尙本省ヨリノ配付ノ豫防心得ヲ増刷普及セシメ、且豫防心得「カード」モ増刷ノ

上三千枚ハ市營並ニ郊外ノ各電氣鐵道會社ニ交渉シ全車輛ニ對シ一車ニ二枚乃至四枚宛ヲ貼付揭示セシメ以テ其ノ趣旨ノ普及ニ努ムルト同時ニ殘餘ハ府下各警察官署衛生組合等ヲ介シテ必要ナル方面ニ頒布シタリ

神奈川縣 活動寫真ノ興行ヲ利用シ豫防注意書ヲ幕間ニ映出セシメテ公衆ノ注意ヲ喚起シ又一面ニ於テハ劇場、寄席等多衆集合ノ機會ヲ利用シテ同注意書ヲ掲出セシメ一般ノ注意ヲ喚起シタリ

兵庫縣 注意書ヲ配付シ新聞紙ヲ利用シテ各自ノ自衛ヲ促セルハ勿論一層徹底的ニ會得セシムル爲活動寫真、フィルム、數卷ヲ作製シ各地興業主ヲシテ映出セシメタリ

長崎縣 時々訓令ヲ發シ島司郡市長警察官署長ヲシテ専ラ縣民ノ自衛心喚起ニ努メタル外一般豫防心得ニ關スル印刷物ヲ縣内全部ニ配付セリ

新潟縣 大正七八年流行性感冒流行ノ兆アルヤ縣ニ於テ稍詳細ニシテ平易ニ記述セル豫防心得書ヲ警察官署、郡市役所及町村役場ニ配布シ且ツ理髮店、湯屋、旅館、興行場、停車場、汽船發着所、學校、工場等へ給入ノ單簡ナル豫防心得書ヲ揭示セシメ各市町村ニ對シテモ各戸ニ豫防心得書配付方ヲ獎勵シ傍ラ縣衛生技術員、警察官、郡市役所員ヲシテ各市町村、學校、工場等ニ豫防上ノ講話ヲ施行セシメタル結果一般人民ノ豫防思想著シク向上シ豫防注射ヲ受クル者、マスク、使用者含嗽實行者等著シク増加シ尙流行時患家出入者ノ減少、患者ノ遠慮心ヲ喚起スル等ニヨリ大正八年ニ於テハ前回ノ流行ニ比シ稍患死者ヲ減少セシムルコトヲ得タリ

埼玉縣 印刷物及流感豫防「ポスター」等文書ヲ以テ豫防宣傳ヲナシ又飛行機ニ依リ之等ヲ配布スル等ノ手段ヲ講シタルモ民衆ヲ集合セシメ衛生講話等ヲナスハ却テ傳染ノ機會ヲ作ル虞ア

ルヲ慮リ之ヲ避ケタリ

群馬縣 警察官署長ヨリ調査報告スル材料ニ基キ患者數表ヲ作製シ時々縣郡市醫師會長、警察官署長、新聞記者等ニ頒布シテ一般的ニ周知方法ヲ講セシメ以テ自衛心ノ喚起ニ努メ尙感冒豫防ニ關スル標語ヲ造リ二萬八千枚ヲ五百圓ノ豫算ヲ以テ印刷シ停車場、旅店、待合所、料理店、理髮店、湯屋其ノ他公衆ノ出入スル場所ニ掲出セシメ或ハ地方醫師會、衛生組合等ト協力シテ衛生講話會ヲ開キ或ハ劇場、活動寫真館ニ至リ幕合ノ時間中本病ノ最モ恐ル可キコトヲ講話宣傳シタリ

千葉縣 流感豫防ニ關スル內務省衛生局送付ノ豫防心得其他各種ノ印刷物ヲ官衙、學校、病院、公私立ノ團體其他多數出入スル個所ニ貼付シ或ハ各戸ニ配付シ尙各所ニ設置セル警察官署ノ警告板ニ豫防ニ關スル要項ヲ揭示セシメ一般ニ周知セシムルノ外學校醫、地方開業醫師、警察醫、防疫員等ニ於テ講話ヲ爲シ以テ豫防ニ關スル思想ヲ啓發セシメタリ

茨城縣 官民一致協力ヲ計リ一般ニ對シテ病毒傳播徑路及其傳播力ノ熾烈且ツ恐ルヘキヲ知ラシメ一面繪入豫防掛圖ヲ印刷シ縣下各銀行、郵便局、町村役場、劇場、各學校、理髮店、湯屋其ノ他多衆集合ノ場所ニシテ公衆ノ看易キ所ニ貼付セシメ或ハ豫防心得書ヲ理解シ易キ文字ヲ以テ印刷シ各家庭ニ限ナク配付シ以テ豫防心得ノ喚起ヲ促シ又學校生徒兒童其他青年會員等ニ對シ夫々豫防上ニ關スル講話ヲナス等豫防ニ關スル思想ノ啓發ニ努メ殊ニ本病豫防ニ關スル思想ヲ廣ク且ツ速クニ縣下ニ普及セシムル目的ヲ以テ小型ノ葉ヲ作製シ之ヲ小學校兒童ニ配布シタルカ兒童ヲ通シテ家庭ニ及ホシタル影響ハ大ナルモノニシテ豫防上至大ノ效果アリタルモノト認メラレタリ

栃木縣 本病豫防方法ヲ一般ニ周知セシムル爲メ縣費ニテ印刷物ヲ作製シ之ヲ配付スルト共ニ市町村長ヲシテ豫防心得書ヲ印刷セシメテ之ヲ各戸ニ配付シ又適當ナル機會ヲ利用シ豫防思想ノ普及ヲ圖リ以テ一般ニ對スル自衛心ノ喚起ニ努メタリ

奈良縣 豫防ニ關シテハ豫防宣傳書ヲ各戸ニ配付シ又ハ多數人ノ集合スル場所ニ之ヲ揭示シ警察官吏、役場吏員、學校職員ト共力シ機會ヲ得ル毎ニ豫防事項ヲ宣傳シ民衆ノ豫防思想啓發ニ努メタリ

三重縣 衛生講話會、印刷物配付等一般ニ自衛心喚起ニ努メ又活動寫真館ニ於テ幕間ニ豫防ニ關スル事項ヲ映寫觀覽セシメタル向モアリタリ

愛知縣 豫防上ノ思想啓發ニ就テハ衛生講話會ハ成ル可ク之ヲ避ケシメ諭告ニ基キタル注意書ヲ配付セシメ各市町村ノ經費ノ許ス限リ「ポスト」掲示ヲ行ハシメ亦豫防心得書ノ配付ヲ爲シ地方ニヨリテハ青年會ノ揭示板ヲ利用シ時々ノ狀況ヲ一般ニ知ラシメタリ其他小學校ニ於テハ學校醫ヨリ、青年會ノ集會時ニ於テハ地方ノ醫師ヨリ、工場ニ於テハ工場醫ヨリ夫々豫防ニ關スル講話ヲ爲シ又警察取締ニ屬スル各種ノ營業者ノ會合時ニ警察署長ヨリ注意ヲ與フル等ノ方法ヲ執リタリ

靜岡縣 思想ノ啓發方法トシテ大要左記各項ヲ實施シタリ

言論 流感豫防ニ關スル思想ノ啓發ニ就テハ民衆ノ耳ヨリ直接ニ傳達スルヲ以テ最モ效果アリト、思料シ醫師、警察官等ヲシテ學校、工場、消防演習、其他劇場、寄席、活動寫真ノ幕間等ヲ利用シ多衆集合ノ場所ニ於テ流感豫防ノ宣傳ヲナサシメ又縣下主要ノ市、町ニ於テハ警察官、警察醫、市町村吏員、衛生組合員、醫師會員等協力シ道路上ニ於テ豫防宣傳ヲ爲サシメタルニ當時嶄新ノ方

法ナリシヲ以テ相當效果アリタルモノト思料ス

活動寫真 活動寫真ノ映寫中ニ流感豫防ニ關スル簡單ナル文字又ハ繪畫ヲ映寫シ辯士ヲシテ説明ヲ爲サシメタリ

印刷物 從來ノ難澁ナル章句ハ宣傳ニ適セサルヲ察シ本省ノ宣傳文字ニ準シ極メテ簡潔明瞭ナル語句ヲ用ヒ流感豫防ノ主旨ヲ印刷頒布シ市町村ヲシテ更ニ複製頒布方獎勵シタリ又一面新聞紙ヲ利用シ豫防心得方普及ヲ計リタリ

山梨縣 感冒流行ノ微アルヤ告諭訓令ヲ發シ注意警戒スルト共ニ豫防心得書大二千枚小二萬枚ヲ印刷シ又私立山梨縣衛生會ニ於テハ豫算百五十圓ヲ計上シテ宣傳用心得書大二千五百枚小二萬枚ヲ印刷シ縣ノ印刷物ト共ニ下宿、湯屋、理髮店、停車場其他衆人ノ看易キ場所ニ揭示シ又ハ諸所ニ衛生講話會ヲ催シ又ハ活動寫真館ヲ利用シテ幕間ニ本病豫防ニ關スル注意ヲ映寫セシメタリ

滋賀縣 豫防方法及豫防心得ハ流行ノ初期ニ於テ豫メ告諭ヲ發シ以テ一般縣民ノ注意警戒ヲ促シ之カ趣旨ノ徹底ヲ期スル爲メ郡市長及警察官署長ニ對シ普ネク周知方ニ關シ通牒ヲ發セシメタリ而シテ之カ周知ニ關シ採リタル方法ハ市町村又ハ衛生組合ノ費用ヲ以テ印刷物ヲ調製セシメ之ヲ各戸ニ配布シ或ハ各種學校並ニ多衆集合ノ場所又ハ路傍ノ適當ト認ムヘキ個所ヘ之ヲ大書揭示セシムル等多數會合スル講演等ハ成ルヘク之ヲ避ケ汎ク豫防思想ノ啓發ニ努メタリ

岐阜縣 豫防心得書ヲ各郡市役所警察官署ニ配付シ公衆集合ノ場所ニ揭示セシメタリ

長野縣 豫防心得書「ボスター」ノ配付、衛生講話ヲ行ヒ醫師會、青年會、婦人會等ヲシテ「マスク」合嗽

ノ普及ニ對スル宣傳ヲナサシメタリ

宮城縣 印刷物ノ配付、衛生講話ノ開催等ニヨリ之カ豫防智識ノ普及徹底ニ努メタリ、又市町村ニ於テモ印刷物ヲ増刷シテ配付スル等一般周知方法ヲ講シタリ

福島縣 一般ノ注意ヲ喚起セシムル爲メ縣費ヨリ金五百圓ヲ支出シ心得書十萬枚ヲ印刷シ各市町村ニ配付セリ。市町村ニ於テハ之ヲ増刷シ又ハ繪畫等ノ意匠ヲ加ヘタル印刷物ヲ各戸ニ配付シ警察官吏ハ村會アル毎ニ之カ説明等ヲ爲シテ以テ趣旨ノ徹底ヲ圖ルニ努メタリ

鹿手縣 訓令、通牒ヲ發シテ豫防警戒ニ努ムルト共ニ豫防心得書ヲ配付セリ  
青森縣 衛生局ヨリ配付ノ豫防注意書ヲ更ニ二萬枚増刷シテ必要ナル町村ノ毎戸ニ配付シ芝居、活動寫真館等ノ入場者ニモ配付セシム、一面注意書ノ擴大シタルモノヲ増刷シ又衛生局配布ノ「ボスター」ヲ増刷シ市町村役場、青年團等ノ揭示場、理髮店、湯屋、劇場等多人數集合ノ場所ニ揭示シ本病豫防ニ對スル注意ヲ喚起シ自衛心ノ普及ヲ圖レリ

山形縣 流感豫防心得書數萬枚ヲ印刷シテ普ク一般ニ配付シ衛生局ヨリ送付ノ同心得書ハ郡市町村警察官署其ノ他ノ揭示場ヲ利用シテ之ヲ掲出セシメ又必要ニ應シテ衛生講話會ヲ各地ニ開催シテ豫防方法ノ普及徹底ニ努メタリ

秋田縣 告諭、訓令等ヲ發布シ又警察醫ヲ各地ニ派シテ講演其ノ他ノ方法ニ依リ豫防思想喚起ニ努メタリ

福井縣 一般ニ周知セシムル方法トシテ豫防心得書ヲ各戸ニ配付シ或ハ新聞ヲ利用シテ患者ノ處置其ノ他ノ豫防方法ヲ記載セシメ或ハ工場、劇場、寄席、旅館其他多數集合スル場所及交通頻繁ナル個所ニ平易ナル繪入注意書ヲ揭示シテ豫防方法ノ徹底ヲ期セリ

石川縣 豫防心得書ノ配布圖解ノ配布又ハ活動寫真ノ初メニ注意書ヲ映寫シ豫防思想ノ啓發ニ努メタリ

富山縣 縣費ヲ以テ豫防心得書一萬二千枚ヲ印刷シ町村役場、學校、工場、劇場等多人數集合ノ場所ニ揭示セシメ豫防宣傳ニ努メタリ

鳥取縣 民衆自衛心ノ啓發ヲ促スヘク當該官公署ヲ始メ各種ノ公私團體ヲ督勵シテ極力豫防警戒ノ宣傳ニ努メシメ就中印刷物ノ配布、各種集合機會ヲ利用シテ豫防ニ關スル講話ヲナシ又ハ興行場ニ於テ其幕間ヲ利用シテ豫防宣傳ヲ爲ス等大ニ豫防思想ノ啓發ニ努メタリ次回ノ流行時ニアリテハ一般ニ於テモ苦キ經驗ヲ有セルヲ以テ彼此相戒メテ之カ豫防ニ努メ甚シキハ一部落ニ於テ患者發生スルヤ醫師ノ外絕對ニ患家ニ出入セサリシカ如キ又ハ各自ノ生業ヲ休ミ屋內ニ閉居シテ近隣若シクハ親族間ト雖モ絕對的ニ交通ヲ斷テ以テ自衛ニ力メタルカ如キ事例アリ

島根縣 縣當局ハ勿論警察署長及郡市當局ト協力セシメ警察官並ニ市町村當局ト共ニ「ボスター」ニ依ル宣傳ト相待テ衛生講話等ヲ開催セシメ且ツ小學校教員ヨリ兒童ヲ介シテ其ノ父兄ニ宣傳セシムルノ方法ヲ採リ以テ縣民一般ニ豫防ニ關スル心得ノ周知徹底ニ努メタリ

岡山縣 各地ニ屢々衛生講話會ヲ開催シ豫防心得書ヲ配布シ、注意書及「ボスター」ヲ揭示シ、尙活動寫真ノ「フィルム」ニ注意事項ヲ挿入セシメ映寫セシムル等專ラ豫防思想ノ啓發ニ努メタリ  
廣島縣 本病ノ傳染徑路病狀並ニ經過其ノ他豫防上注意スヘキ事項ヲ記載セル心得書ヲ配布シ、又ハ「ボスター」ヲ各地樞要ノ場所ニ揭示シテ豫防思想ノ普及ト實行トヲ督勵セリ  
山口縣 豫防ニ關スル思想ノ啓發ニ努ムル方法トシテ本省配布ノ宣傳書ヲ各警察署ニ送致シ

多衆人集合スル場所ニ揭示セシメ更ニ市町村ヲ督勵シ豫防心得書ヲ作製セシメテ之ヲ汎ク各戸ニ配布セシメ一面縣下各新聞紙ヲ利用シ一般豫防心得、豫防注射ヲ獎勵スル等極力宣傳方法ヲ考慮シ之レカ實行ニ努メタリ

和歌山縣 大正七年初發當時一般民衆ハ病性ニ關スル智識乏シク動モスレハ等閑ニ附スル傾向アリシモ大正八、九年ニ至リテハ前年ニ於ケル猛烈ナル病毒ニ因ル流行ノ慘害ハ一般ノ自覺スル處ト爲リ極力自發的警戒ニ力メタリ加之自衛的豫防措置ヲ一般ニ周知セシムル爲メ各警察官署、市町村學校等ノ施設ニ係ル各種ノ方法ニ依ル宣傳ノ結果民衆ノ豫防ニ關スル思想漸次啓發向上シ前年ニ比シ著シク良好ナル成績ヲ齎ラセリ

香川縣 各學校ニ於テハ學校醫ヲシテ豫防講話ヲ爲サシメ又本省ヨリ送付セラレタル豫防心得書十二萬枚ヲ複寫シ汽車、電車等ノ待合所其ノ他公衆ノ目ニ觸ルル場所ニ揭示シ且之ヲ各戸ニ配布シ豫防智識ノ啓發ニ努メタリ

愛媛縣 流行ノ狀況及豫防心得豫防注射ノ效果等時々新聞紙ニ掲載セシメ又「ボスター」十五萬枚ヲ各地ニ配布シ尙宇和島八幡濱ノ如キ大工場ヲ有スル個所ニハ警察官及警察醫ヲ派遣シ各工場ニ於テ衛生講話ヲ爲サシメ又宇和島警察署ニ於テハ活動寫真ノ幕間ヲ利用シテ豫防心得ノ宣傳ヲ行ヒ相當ノ效果ヲ奏シタリ

高知縣 簡易「マスク」家庭製作方ヲ示シタル簡單ナル豫防心得書十萬部ヲ印刷シ各戸ニ配布シ尙繪畫入注意書二千枚ヲ各要所ニ貼付シ一般ニ豫防注意ヲ喚起セシメタルカ本縣ハ主トシテ實行容易ニシテ比較的效果アリト認めラルル「マスク」ノ使用獎勵ニ努メタリ

大分縣 流行性感冒豫防ノ爲メ各町村長ト協議シ一般ニ對シ「マスク」使用及豫防注射含嗽ノ獎